

市民による都市公園の外来魚防除活動

三ツ池公園を活用する会
水辺クラブ 天野隆雄

神奈川県立三ツ池公園は横浜市にあり、その名の通り三つの池を中心とした約30haの都市公園です。（3つの池の総面積は約3.4ha）



12年ほど前から池の中にブルーギルやミシシippアカミミガメ等の外来生物が多数生息するようになり、このままでは在来水生生物が絶滅しそうな状態にありました。会の中で危機感を共有している仲間と相談し、06年7月に公園管理事務所に外来生物の調査を目的として申請し活動を開始しました。

毎年4月から11月の間、毎月2回（第一・第三日曜日）の定例活動を実施することにしました。活動開始当初は釣りが禁止でしたが、管理事務所と交渉しこの活動に限って駆除釣りを認めてもらいました。

その後釣りによる参加者が飛躍的に増加し毎回平均で350名となり、活動が順調に発展してゆきました。



主な捕獲活動は、ブルーギル釣り・アメリカザリガニ釣りによるものですが、その他に地曳網・定置網・投網・モンドリ・電気ショッカーなどを使用して外来生物の防除を行いました。

今年度からはブルーギル釣りは行っていません、外来魚の繁殖を抑制する為ならば有効ですが、根絶することが出来ないからです。

上記の通常活動の他、6年間で5回のかいぼりを実施しました。

外来魚を駆除し在来生物の聖域を作り、絶滅を防ぐための事業です。

首都圏ではかいぼり事業が珍しい為、新聞でも報道され、毎年どこかのテレビ局が取材し放映されています。

現在まで公式活動は100回以上実施、累計活動参加者は約3万名、ブルーギル等累計捕獲外来魚約24万匹、累計捕獲アメリカザリガニ約7万匹という結果です。

捕獲した外来生物は、一度急速冷凍をして、次回の活動の際に公園内の目立たない場所に埋却処分をしています。

13年10月に下の池のかいぼりを終了し、外来魚防除活動を一段落させることにしました。



来年度からは新たに外来生物駆除活動として再出発、主にウシガエルやミシシippアカミミガメ・アメリカザリガニを対策、かいぼりでは十分な成果を得られないものに目標を置いて活動を存続する予定です。

三ツ池公園の市民による外来魚防除活動はこのように大きな成果を上げたわけですが、成功の要因がいくつかあります。

一番目は、中核となる水辺クラブの役員が熱心に活動の輪を広げたことです。活動主体は水辺クラブが行いましたが、各事業の承認や費用の支出まで公園管理事務所が前向きに対応されました。

二番目は、何と云っても多数の地域の住民の方々のご参加をいただいたことです。来園者の方がこの活動をご覧になって「池の中の状態はこんな状態なのか、私達も参加して公園の自然環境を守りたい」と参加されました。市民活動の核として共有認識が生まれたものです。

三番目は、「全国ブラックバス防除市民ネットワーク」に加入したことで会員団体の皆さまのご協力をいただき、かいぼり際には主力としてご活躍頂きました。

四番目は、私達素人集団に対し終始参加され、助言を続けて下さった(株)ドリスジャパンの山本龍太コンサルタントのご指導がありました。